

職業体験プログラム『物流の最前線』開催 小学5、6年生が佐川急便で社会を支える最先端の物流を体験

フューチャー イノベーション フォーラム（代表：牛尾治朗・ウシオ電機株式会社社長、金丸恭文・フューチャー株式会社社長兼社長、以下F I F）は、佐川急便株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：本村正秀）協力のもと、7月30日（火）に佐川急便株式会社 東京本社（江東区新砂）にて職業体験プログラム「物流の最前線」を実施しました。2007年にスタートした本プログラムは、社会のしくみや働くことについて考える「キャリア教育の場」として12回目の開催を迎えました。

当日は小学5、6年生20名が参加し、佐川急便のグループ海外法人である台湾佐川とテレビ会議をつなぎ国際物流について学び、業務用電動アシスト自転車「TRIKE CARGO」の見学や荷物の配達実習、大型物流施設での発送体験などを通じて物流のしくみを学びました。プログラムの最後には、佐川急便株式会社 栗和田榮一会長（SGホールディングス株式会社代表取締役会長）への質問会も行い、参加者からは「いつも当たり前荷物が届くので、その裏側のことを知り感謝の気持ちがわいた」「物流センターでは県や市ごとに素早く荷物が振り分けられるのに驚いた」「電子サインにすることで伝票が少なくなり、エコになることも知った」などの感想も聞かれました。

また今回は過去に本プログラムに参加し、現在、高校・大学生となった子どもたち8名がサポートスタッフとして参画しました。イベント終了後に「物流課題を解決するための新しいサービスやしくみ」をディスカッションし、再配達を減らすための取り組みやアイデアを発表しました。

FIFは今後も子どもたちの未来につながる特別な一日を提供していきます。

【実施概要】

日時：2019年7月30日（火）10:00～15:30

会場：佐川急便株式会社 東京本社（東京都江東区新砂2-2-8）

参加者：小学5、6年生20名（一般公募のうえ抽選）

高校・大学生8名（過去の同プログラム参加者）

プログラム：・セールスドライバー®の仕事や物流について学習

・テレビ会議による海外拠点との交流

・トラックやクール室の見学

・HAPPY（ロボット）、業務用電動アシスト自転車「TRIKE CARGO」の見学

・荷物の配達実習

・大型物流施設の見学と荷物の発送体験

・佐川急便 栗和田榮一会長との質問会

協力：佐川急便株式会社、フューチャー株式会社、フューチャーアーキテクト株式会社

後援：江東区教育委員会、品川区教育委員会



TRIKE CARGO の見学



配達実習



荷物の発送体験

【お問い合わせ】 F I F 事務局

TEL :03-5740-5817 Mail : forum@future.co.jp

URL : <https://fif.jp/> facebook : <https://www.facebook.com/fif.2006>